

キラリ わたしの学校

～「夢に向かってかがやく子」を目指して～

小野連携型小中一貫校では、「夢に向かってかがやく子」の育成を目指し、「学びのつながり・友達とのつながり・家庭地域とのつながり」を柱に「9年間の学びを大切に作る学校・地域とともに子どもをはぐくむ学校」づくりに取り組んでいます。

昨年度は学校運営協議会が中心となり、目指す子ども像「夢に向かってかがやく子」の実現に向け、学校・子ども・家庭・地域それぞれの具体的な取り組みを定めた「『夢に向かってかがやく子』育成アクションプラン(ホームページに掲載)」を作成しました。

小野中学校では生徒会本部役員を中心として、生徒全員の意見を集約し、「子どもの取組」を決定しました。積極的・自主的に学習に取り組むこと、朝読書を中心として読書活動に取り組むこと、あいさ

小野中学校

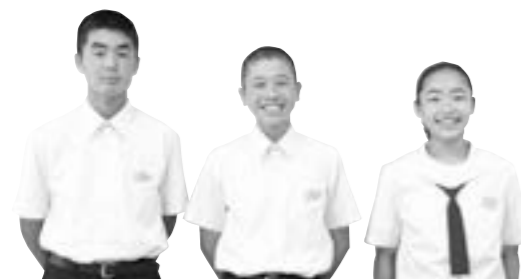
問い合わせ 学校教育課(☎508212)
小野中学校(☎20104)



↑「一日の始まりは読書から」朝読書の様子。

つの励行や感謝の言葉を伝えること、優しい行動と言葉掛けで温かい人間関係づくりに努めること、自分の夢を見つけて頑張ることなどを通して「夢に向かってかがやく子」を目指しています。「夢に向かってかがやく子」を実現していくためには、「一つ一つの課題をみんなで話し合い、協力して乗り越えていくことが大切」と生徒会役員は話します。また縦割りグループで、さまざまな題材について考える「きずなタイム」では生徒同士の絆を深め、よりよい学校づくりを行っています。

5月には、本アクションプランを家庭や地域にも配付しました。学校・家庭・地域の協働による「夢に向かってかがやく子」の育成が始まっています。



Name
こやま りんのすけ 小山 凜之助くん
みやした そうへい 宮下 颯平くん
しゅうま ひなこ 庄山 日南子さん

人権を考える

問い合わせ 生涯学習課(☎26888)
学校教育課(☎508212)



～教育現場における人権教育～

本市では、学校が保護者・地域と連携・協働して子どもを育てるコミュニティ・スクールを基盤とし、各中学校区において小中9年間の学びのつながりを大切にした一貫教育を行っています。

人権教育の実践

人権教育で大切なことは、子どもたちに安定した学びの環境を保障し、学力を確実に高めることと考えています。そのために各一貫校では子どもたちの実態を踏まえ、目指す子ども像を共有し、その実現に向けて一人一人を大切にしたい指導を行っています。毎日の授業では、これまでの学びを生かしたり、子どもの主体的・協働的な学びを取り入れたりして、お互いの考えを尊重しながら対話を通して自分の考えを広げ深める授業づくりを進めています。そして子どもたちの良さを認め、褒め、自己決定・自己存在感・共感的人間関係を大切にし、やる気を引き出します。道徳の授業はもちろん、

日々の授業や学校生活において人を思いやる気持ちや善悪への判断力を培っています。

いじめ問題解決に向けた子ども会議

また子どもたちの人権意識を高めるきっかけの一つとして、毎年「いじめ問題解決に向けた子ども会議」を実施し、小・中・高校生がいじめ問題に真摯に向き合い、いじめのない学校づくりのための話し合いを行っています。

平成25年度の子どもの会議では「スマイルハイタッチあいさつ運動」と「HAPPYはあ」とふるツリー運動(友達のことろ探し)を実施することが決められ、それ以降、各校では工夫した取り組みを行っています。平成28年度には「藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション3(相手が喜ぶ言葉を使おう・送信する前に確認しよう・大切なことは相手の目を見て伝えよう)」平成29年度にはこの「アクション3」を踏まえ、「いじめは絶対に許さない」という思いを「アクション3+(プラス)」

としてまとめました。昨年度は「友達の良いところを見つけ伝え合うことは、なぜいじめの未然防止になるのか」について話し合いました。「お互いの存在を確認し、お互いのよいところを見つけ伝え合うこと」によって相手を大切にしたいという気持ちになるなど、グループごとに考えを深めることができました。最後に「いじめをなくすために、これから取り組んでいきたいこと」を一人一人が漢字1文字で表し、子ども会議で学んだことを学校で広める気持ちを高めました。

人権教育の充実のために

市教育委員会では、今年度、美九里東小学校を「人権教育実践推進校」に指定し、子どもたちの学力向上・より良い人間関係づくりを進め、子どもたちが活躍できる学校づくりを研究していきます。この研究成果を市内全校に広げ、子どもたちの「笑顔・やる気・希望」のために人権教育の一層の充実を図っていきます。

本との出会い

図書館司書がセレクトした新刊情報

開館時間 午前9時～午後8時(土・日曜日、祝日は午後5時まで)
休館日 月曜日
問い合わせ 図書館☎21669

つみびと



著者▷山田 詠美
灼熱の夏、なぜ幼な子2人を置き去りにしたのか。追い詰められた母親。ネグレクト死。小説でしか描けない「現実」がある。虐げられる者たちの心理に深く分け入る迫真の衝撃作。

孤独という道づれ



著者▷岸 恵子
日本とフランスを往来した60年の苦や楽、3度の別れで気付いた孤独という宝物。女優・作家の岸恵子が、物忘れや体調の変化、アポ電など、晩年という季節の生き方をつづる。

続・ペコロスの母に会いに行く



著者▷岡野 雄一
漫画家岡野雄一が、亡き認知症の母のエピソードを中心に描く家族の物語。「生きとこうで。生きとけば、どげんでんなる」みつえさんの言葉は、きっと肩の荷も軽くしてくれるはず。